



Vol.5 No.1 The University of the Ryukyus Library Bulletin 1971.1.18

指定図書制度の確立推進について

I 指定図書の利用状況

ここ2ヶ年、本館の指定図書の利用状況を見てみよう。

1968 学年度前期の利用状況

	利用冊数 ()は一夜帯出冊数	利用者数	開館日数	1日平均利用冊数	1日平均利用者数
4月	427 ^冊 (50)	380 ^人	23 ^日	18.6 ^冊	16.5 ^人
5月	655 ^冊 (158)	567 ^人	24 ^日	27.3 ^冊	23.6 ^人
6月	315 ^冊 (123)	274 ^人	24 ^日	13.1 ^冊	11.4 ^人
7月	383 ^冊 (183)	319 ^人	27 ^日	14.2 ^冊	11.8 ^人
計	1,780 ^冊 (514)	1,540 ^人	98 ^日	18.2 ^冊	15.7 ^人

館内利用と館外帯出の冊数の比は、1.266冊：514冊で、館内利用冊数が71%を占める。

1968 学年度後期の利用状況

	利用冊数 ()は一夜帯出冊数	利用者数	開館日数	1日平均利用冊数	1日平均利用者数
10月	248 ^冊 (16)	223 ^人	22 ^日	11.3 ^冊	10.1 ^人
11月	209 ^冊 (20)	189 ^人	24 ^日	8.3 ^冊	7.8 ^人
12月	141 ^冊 (20)	127 ^人	24 ^日	5.9 ^冊	5.3 ^人
1月	177 ^冊 (17)	160 ^人	16 ^日	11.1 ^冊	10.0 ^人
2月	192 ^冊 (55)	159 ^人	22 ^日	8.7 ^冊	7.1 ^人
計	967 ^冊 (128)	858 ^人	108 ^日	9.0 ^冊	7.9 ^人

館内利用と館外帯出の冊数の比は、839冊：128冊で館内利用冊数が87%を占める。また、前期の利用冊数に比較して、後期のそれは著しく減少している。

1969学年度前期の利用状況

	利用冊数 ()は一校帯出冊数	利用者数	開館日数	1日平均利用冊数	1日平均利用者数
4月	349冊 (26)	307人	21日	16.6冊	14.6人
5月	527 (158)	445人	24日	22.0人	18.1人
6月	390 (105)	328人	24日	16.3人	13.7人
7月	461 (238)	392人	27日	17.1人	14.5人
計	1,727 (527)	1,472人	96日	18.0人	15.3人

館内利用と館外帯出冊数の比は、1200冊：527冊で、館内利用冊数が69%を占める。

1969学年度後期の利用状況

	利用冊数 ()は一校帯出冊数	利用者数	開館日数	1日平均利用冊数	1日平均利用者数
10月	165冊 (17)	145人	18日	9.2冊	8.1人
11月	154 (26)	131人	14日	11.0人	9.4人
12月	238 (59)	215人	21日	11.3人	10.2人
1月	186 (43)	163人	23日	8.1人	7.1人
2月	295 (100)	245人	24日	12.3人	10.2人
計	1,038 (245)	899人	100日	10.4人	9.0人

館内利用と館外帯出の冊数の比は、793冊：245冊で、館内利用冊数が76%を占める。

また、前期の利用冊数に比較して、後期の利用冊数は著しく減少している。

このように、二学年間の利用状況をみると、前期の利用状況に比べて、後期のそれは共通して、著しく減少している。

これを、1日平均利用冊数および利用者数を、学年度の前期と後期の比較表によって端的に示してみた。

	1日平均利用冊数		1日平均利用者数	
	1968年	1969年	1968年	1969年
前期	18.2冊	18.0冊	15.7人	15.3人
後期	9.0 "	10.4 "	7.9 "	9.0 "

昭和42年度（1967年度）における本土大学の一日平均利用状況は、つぎの通りである。

国立大学	39.5冊	25.0人
公立大学	9.6冊	8.5人
私立大学	38.6冊	26.5人

この数字は、館外帯出のみで、開架方式がほとんどであるので、実際の利用者はこの数字を上回るものである。

本学の場合、指定図書として選定されて、全く利用されなかった図書は、1969学年度前期が1,118冊に対して147冊が利用ゼロで、これは全体の13%である。種類数にすると556種のうち50種が全く利用されなかった。

同様に、後期についてみると1,125冊の指定に対し、104冊が利用ゼロで、これは全体の9%である。種類数にすると734種のうち47種が全く利用されなかった。

利用ゼロの図書については、指定図書選定の段階で問題があるだろうし、教官の指定図書制度についての理解の程度が考えられる。

II 指定図書制度の確立推進

第49回図書館運営委員会において、指定図書制度の確立推進についての案が図書館側から提出されたが、この案では特に指定図書制度を運営するためには、図書館と教官との協力態勢を確立する必要が強調されている。

これまで図書館は、教官に指定図書制度についての理解を深

めてもらうために「文部省指定図書制度実施要綱」を、各教官に配布し、毎学期の指定図書リスト、設置状況、利用状況と報告してきた。

教官の理解と協力を一層深めるために、図書館は必要に応じて積極的に教官に接触していかねばならず、教授会で要求があれば出かけて行って説明する旨、この委員会で図書館の意向が述べられた。また指定図書制度についての理解を深め、教室での講義と結びつけて現有の資料を十分に活用し、漸次方向づけをしていくと同時に、その発展に伴って予算的な裏付について考慮すべき問題が生じてくることは間違いなく、この点について十分検討していかねばならないとの図書館側の意見が述べられた。枚数の関係で説明不足になったが、次号あたりで再び述べる機会をもちたいと思っている。

[閲覧係長 野原 敏弘]

1970学年度後期指定図書設置状況

後期の指定図書設置状況は、下表の通りである。

法文学部

	指定教官数	指定図書冊数
国文	1人	99冊
英文	3人	17冊
史学	3人	152冊
法政	1人	81冊
商学	1人	6冊
計	9人	355冊

左の表の内容を学部別にみると冊数では、法文学部が355冊で最も多い。各表から指定した教官1人当りの冊数を算出すると、法文学部が39.4冊、教育学部17.8冊、理工学部23冊、保健学部9.5冊、農学部8.0冊、教養部6.0冊、短大部ゼロ。で法文学部がトップを占めており、全体としては、21.3冊となって

教育学部

教育	3人	77冊
心理	2人	40冊
初教	2人	20冊
体育	1人	5冊
計	8人	142冊

理 工 学 部

生物	1人	29冊
土木	1 "	17 "
計	2	46 "

農 学 部

農学	2人	11冊
農化	2 "	14 "
畜産	2 "	38 "
家政	9 "	177 "
計	15 "	240 "

保 健 学 部

保健	4人	38冊
----	----	-----

散 養 部

散養	1人	6冊
----	----	----

総 計

総計	39人	892冊
----	-----	------

いる。また各学部毎の教官数に対する指定教官数の比率は、法文が13.4%、教育18.2%、理互3.5%、保健44.4%、農学29.4%、散養4.2%、短大ゼロで、保健学部が最も高く、全体としては15%となっている。以上の事柄から注意すべき点をあげると、先ず今回は短大部が1冊の指定もなかった。このことは夜間部という困難性をどう克服していくか、今後の課題である。

下表は「理工学部指定図書設置状況」の推移を示したものであるが、今期は7学科中2学科の2教官が指定しているにすぎず、年を追ってしりっほみになってきていることがわかる。この傾向は大学における自然科学系の散投形態の特殊性によるのか、他の要因があるのか十分検討に値する。

理 互 学 部 指 定 図 書 の 推 移 状 況

	指定学科数	指 定 冊 数	指定教官数
1967 後期	3 学科	233 冊	5人
68 前期	4 "	247 "	7 "
68 後期	5 "	254 "	7 "
69 前期	4 "	162 "	6 "
69 後期	2 "	84 "	3 "
70 前期	2 "	76 "	2 "
70 後期	2 "	46 "	2 "

今回の指定図書を過去5学期と較べてみると、次表のとうりである。

年度・学期別指定図書の推移状況

	指定冊数	指定教官数	指定教官1人当り冊数
1968 前期	1,260冊	49人	25.7冊
後期	1,066 "	39 "	27.3 "
1969 前期	1,118 "	44 "	25.4 "
後期	1,118 "	25 "	44.7 "
1970 前期	1,036 "	32 "	32.4 "
後期	829 "	39 "	21.3 "

1970 学年度後期は、1,000冊台をわってしまい、指定教官1人当り冊数も 21.3冊で最も低い。

このことは教官が指定図書を選択するにあたり、慎重を期したためと思われる。

以上簡単に述べたが、今後はこれからの図書がいかにか効果的に利用されるか、教官、図書館側ともにアフターテープについて前向の姿勢でとりくまねばならない課題であろう。

〔担当 閲覧係 大城康洋〕

琉球大学付属図書館報“ひびりお” 第5巻1号〔通号16号〕

1971年1月18日発行 編集兼発行人 平良恵仁

沖縄 那覇市当蔵町3丁目1番地 Tel. 4-0101 (240)